

博士課程教育リーディングプログラム 平成24年度採択プログラム事後評価

修了者アンケート調査(案)

- この調査は、博士課程教育リーディングプログラムの平成24年度採択プログラムに対する事後評価の一環として、各大学の御協力により、文部科学省の指導の下で独立行政法人日本学術振興会が XXXX 株式会社に委託して実施するものです。
- プログラムに参加されていた皆さんに御意見をうかがい、各プログラムの評価・改善に役立てると同時に、文部科学省による新たな施策の検討の参考とします。
- 回答内容は全て統計的に処理されるとともに、回答者個人についての情報が他の目的で使われることはありません。また、調査結果については、プログラムの改善に資するため、回答者個人が特定されないよう、固有名詞の削除や複数の類似意見の統合等の処理を行った上で、当該大学に対して情報提供するほか、集計結果を公表することがあります。

日本学術振興会 個人情報保護規程

http://www.jsps.go.jp/j-kojinjoho/data/filebo_2005/kitei.pdf

- X月X日(X)までに御回答ください。 → <http://XX>
- 本アンケートに関するお問い合わせ先
XXXX 株式会社 担当者:XX・XX
Email:XXXX@XXXX.XXXX

参加されていたプログラムと、御自身についてうかがいます

問1 参加していた大学・プログラム名について、以下に表示されている内容を確認してください。

IDにより大学名・プログラム名を表示

問2 年齢、性別について選択してください。

年齢	1. 24歳以下	2. 25～29歳	3. 30歳代	4. 40歳代以上
----	-------------	--------------	------------	--------------

性別	1. 女性	2. 男性
----	-------	-------

問3 プログラムとの関係について選択してください。

プログラム参加開始年度	1. 2012(平成 24)年度	2. 2013(平成 25)年度	3. 2014(平成 26)年度	4. 2015(平成 27)年度	5. 2016(平成 28)年度
	6. 2017(平成 29)年度				

プログラム修了年度	1. 2014(平成 26)年度	2. 2015(平成 27)年度	3. 2016(平成 28)年度	4. 2017(平成 29)年度
-----------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

プログラム参加時期	1. 大学院入学と 同時に参加	2. 大学院入学後 1年以内に 参加	3. 大学院入学後 2年目以降に 参加
-----------	-----------------------	-----------------------------	------------------------------

学位論文執筆分野	1. 総合系 (情報学、環境 学、複合領 域)	2. 人文社会系 (総合人文社 会、人文学、 社会科学)	3. 理工系 (総合理工、数 物系科学、化 学、工学)	4. 生物系 (総合生物、生 物学、農学・ 獣医学、医歯 薬系)	5. その他
----------	-------------------------------------	--	---	---	-----------

↓

具体的に記入してください。

問4 プログラム参加時の経歴についてあてはまるもの全てを選択してください。

1	プログラムを実施する大学を卒業	5	社会人を経験後、プログラムに参加
2	留学生	6	プログラム参加中も在職していた
3	他の大学の学部を卒業(国立高専専攻科修了後学士を取得した場合を含む)後、プログラムに参加	7	プログラム参加中は休職していた
4	他の大学院を経験後、プログラムに参加		

問5 指導教員(専門分野における研究指導を主に行う教員1名)とプログラムとの関係について選択してください。

1	指導教員がいた — その指導教員がプログラムにも参画していた
2	指導教員がいた — その指導教員はプログラムには参画していなかった
3	それ以外

↓

具体的に記入してください。

問6 このプログラムに参加しようと思った動機は何ですか。また、その動機はどの程度満たされましたか。

	プログラム参加の動機		修了してからの評価			
	当てはまる動機 (複数回答可)	うち、最も 強い動機	期待より良か った	期待通りだっ た	期待したほど ではなかった	全く期待通り ではなかった
プログラムの目的と自分の目指す将来像が合っている						
産業界、官界、NPO、国際機関への就職など自分の将来の可能性が広がる						
通常の博士課程では得られない、幅広い知識や経験が得られる						
他の研究科(専攻)の学生や教員、留学生など、交流の幅が広がる						
留学や海外インターンシップなど、海外での経験が積める						
グローバルな舞台で活躍していくためにPh.D.が必要						
経済的な支援が充実している						
何となく面白そうだった						
友人・知人や研究室の先輩など、教員以外の人にプログラムを勧められた						
指導教員などの教員に勧められた(自分の意志で参加)						
指導教員などの教員に勧められた(断ることができなかった)						

その他の理由がある場合や、上記を選択した理由などについて自由に記述してください。

問7 プログラムの以下の点をどのように評価しますか。

	非常に良い	良い	どちらとも言えない	良いとは言えない	機会がなかった
他の専門分野の学生との交流					
他大学の学生との交流					
専門分野以外の教員との出会い					
企業人との交流					
専門分野以外の幅広い知識や経験					
奨励金や授業料の補助等大学からの経済的支援					
議論することに対する自信をつけること					
アカデミア以外の分野で活躍する自信をつけること					
語学力向上のためのカリキュラム					
インターンシップの機会					

プログラムでの実施状況等についてうかがいます

問8 このプログラムで以下の指導をどの程度受けましたか。また、受けた場合、それは有効でしたか。

	受けた頻度			有効か			
	よく受けた	ある程度受けた	受けていない	有効	ある程度有効	あまり有効ではなかった	有効ではなかった
指導教員以外の教員からの指導							
企業、官界等の学外者からの指導・助言							
主専攻以外の分野の授業等の履修							
研究室ローテーション ※名称は問わない(他研究室に一定期間滞在するなど、異分野の専門的知識を身に着ける機会を指す。)							
プロジェクト形式による授業や課題							
授業外のサポート(メンター等)							
産業界、官界、NPO、国際機関等、教育研究機関以外へのキャリアパス具体化のための情報提供 例：産学共同研究、産業界等の講師を招いたセミナー 等							

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9A. このプログラムにおいて、以下のことは整備されていましたか。また、それは有効でしたか。(整備されていなかった場合は「該当なし」を選択し、設問「有効であったか」への回答は不要です。)

	整備されていた				有効であったか (「該当なし」を選択した場合は回答不要)			
	十分に されていた	ある程度 されていた	不十分	該当なし	有効	ある程度 有効	あまり有効 ではなかった	有効 ではなかった
奨励金や授業料の補助等大学からの金銭的支援								
異分野の学生間で切磋琢磨できる環境 例：学生が交流するスペース、合同のセミナー等								
外国人、職業人等、通常の大学院では接触しにくい人との交流の機会								
学生のみでプロジェクト等を企画・運営する機会								

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

問9B. このプログラムによって、以下のことを経験しましたか。また、経験した場合それは有効でしたか。
 (プログラムのカリキュラムに以下の制度・取組がなかった場合は「参加しなかった」を選択してください。)

	参加の有無		有効であったか (「参加した」を選択した場合のみ回答)			
	参加した	参加しなかった	有効	ある程度有効	あまり有効ではなかった	有効ではなかった
①国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)						
②国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)						
③国内の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ以外の国内での学外活動 ※1						
※1 「参加した」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。						

④海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月未満)						
⑤海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ(1月以上)						
⑥本プログラムの中での留学(3月未満)						
⑦本プログラムの中での留学(3月以上1年未満)						
⑧本プログラムの中での留学(1年以上)						
⑨海外の民間企業又は官庁、国際機関等への研修・インターンシップ及び留学以外の国外での学外活動 ※2						
※2 「参加した」と回答した場合、具体的な活動内容や期間を記入してください。						

上記を選択した理由や特に有効と思ったことがあれば自由に記述してください。

--

問10 このプログラムに参加することによって、以下の能力はどう変化しましたか。

	参加前			修了後		
	あった	ある程度あった	なかった	向上した	ある程度向上した	変化なし
高度な専門的知識・研究能力						
高い国際性						
専門以外の分野の幅広い知識						
物事を俯瞰し本質を見抜く力						
自ら課題を発見し解決に挑む力						
独創的な能力						
チームのマネジメント力						
企画立案、関係者との調整、統率する能力						
他者と協働する力						
ディスカッション能力						
プレゼンテーション能力						
語学力						
その他(具体的に:)						

問11 以下の点についてどう考えますか。

	非常に そう思う	そう思う	そう 思わない	全くそう 思わない
学術研究だけでなく、企業や政府、国際機関等で活躍する人材を育成する可能性が大きい				
所属研究室での指導とこのプログラムでの指導が二重の負担になっていた				
このプログラムによって自身の研究に新たな示唆・知見が得られた				
このプログラムによって自身の進路選択に関して新たな示唆・知見が得られた				
所属研究室において自分の専門的な研究を進めて、業績を上げられた				
修了後の進路に不安があった				
後輩にもこのプログラムを勧めたい ※				
※ 「そう思わない」あるいは「全くそう思わない」と回答した場合、その理由を記述してください。				

問13 居住国について選択してください。また、今後の希望は持っていますか。

	現在	今後の希望 (複数回答可)
日本		
日本あるいは母国以外の外国		
母国に帰国		
未定	/	

問14 プログラムへの参加によって、人生観、職業観、世界観、国際意識等がどのように変わったか、また、修了後の活動や進路にどのような影響を及ぼしたかを自由に記述してください。

個人が特定されない処理をした上で、参加していたプログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)

問15 産学官民(※)にわたりグローバルに活躍するリーダーとなるため、プログラム修了後主体的に行った活動及びその成果について自由に記述してください。(※「民」とは、NGO、NPO等公共的サービスの提供主体を指す。)

個人が特定されない処理をした上で、参加していたプログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい・いいえ)

全般的な御意見をうかがいます

問16 参加していたプログラムについて、自身の将来にどう役立ったか、今後どのように役立つと考えるか、また、これからプログラムに参加する学生のために、プログラムがどのように改善すればよいと考えるか、感想、意見を自由に記述してください。(以下①～③のうち1つでも構いません。)

① <プログラムが役立った点・良い点>
個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい ・ いいえ)
② <改善を要する点(負担を感じた点など)>
個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい ・ いいえ)
③ <その他>
個人が特定されない処理をした上で、プログラムへ御意見を情報提供しても良いですか。(はい ・ いいえ)

アンケートは以上で終了です。御協力ありがとうございました。